

厚木市立病院運営審議会委員委嘱式及び平成27年度第1回会議録

会議主管課 病院事務部門経営管理課
開催日時 平成27年7月10日（金） 午後2時から3時10分まで
開催場所 A棟2階大会議室
出席者 運営審議会委員7人
病院事業管理者、病院事業局長、副院長、病院事業局次長兼医事課長、
経営管理課長、病院事業局参事兼経営管理課兼施設・用度担当課長、
病院事業局参事兼病院建設課長、患者支援センター長、患者支援センタ
ー担当係長、事務局

会議の経過は、次のとおりです。

《委嘱式》

- 1 委嘱状交付
新たな運営審議会委員2人に対して病院事業管理者から委嘱状の交付を行った。
- 2 病院事業管理者あいさつ

《平成27年度第1回厚木市立病院運営審議会》

- 1 開会（次長）
 - （1）委員紹介（自己紹介）
 - （2）事務局職員紹介
 - （3）厚木市立病院運営審議会規程の説明（経営管理課長）
- 2 会長の選出
 - 次 長： 当運営審議会会長でありました厚木医師会会長の笹生会長が、本審議会委員を離職されましたので、審議会規程第4条1項に基づき、委員の互選により会長の選出をお願いしたい。
 - 委 員： 慣例で会長は厚木医師会会長にお願いしておりますので、この度厚木医師会会長に就任されました馬嶋委員をお願いしたいが、いかがでしょうか。
（全委員賛成）
 - 次 長： それでは会長に医師会会長馬嶋委員をお願いしたい。
（委員了承）
 - 次 長： それでは、馬嶋委員につきましては、会長席にお移りください。

（新会長によるあいさつ）
 - 次 長： なお、議事進行につきましては、審議会規程第4条第2項に基づき、馬嶋会長にお願いします。
また、本日の審議会は委員の過半数が出席されておりますので、本審議会が成立していることを報告します。

3 議 題

- （1）平成26年度診療実績について
経営管理課長： 資料に基づき説明。

- 委員：平成26年度は工事期間中であるが、数字があがっているが、苦勞などを聞かせていただきたい。
- 経営管理課長：工事期間中の1番大きな問題は敷地内工事なので駐車場の確保が厳しかった。そのため、国道沿いに臨時駐車場を設けた。工事の騒音問題や3月1日オープンに向けての引っ越し作業のため診療制限を行った。
- 委員：手術件数について、平成24年から件数が増えているが特徴的なものがあるか。
- 副院長：各科の件数が増えている大きな要因は院長が中心になり麻酔科を充実させたことが大きな効果となっている。

(2) 平成27年度厚木市立病院事業会計予算について

- 経営管理課長：資料に基づき説明。
- 委員：約13億円の赤字となっているが、一般的にはゼロがいいのではないか。
- 経営管理課長：新病院第1期オープンしたが、本格稼働にいたっておらず、病床数に制限があり、人員確保、新病院整備の経費が増加し、また第1期稼働に伴う減価償却費も多くなっている。確かに赤字はよくないが、厳しい経営のなかでこのような予算を計上している。
- 委員：新病院が本格稼働したら赤字は減らしていくことができるか。
- 局長：平成24年度から地方公営企業法を全部適用した。平成24年度から28年度までの厚木市立病院経営計画を作成した。
平成26年度に地方公営企業の会計制度の見直しがあり、退職手当引当金などの引当金など計上しなくてはいけなくなった。建物の除却費などの計上もある。
平成28年度は経営計画を見直し、平成29年度からの5か年計画の中で好転していけたらと考えている。

(3) 厚木市立病院建設整備の進捗状況について

- 病院建設課長：資料に基づき説明。
- 委員：建物と建物間の工事で騒音があると思うが対策はあるか。
- 病院建設課長：建物の解体については、近隣住民の皆様大変迷惑をおかけしている。そのため5月23日に10回目の住民説明会を行い、11回目を7月26日に予定している。A棟に入院されている患者様には、免震構造なので振動は少ないが、騒音については看護師の協力のもと説明させていただいている。

(4) 患者満足度調査について

- 経営管理課長：資料に基づき説明。
- 委員：外来の当院への要望の中に「本厚木駅から無料シャトルバスを出してほしい」と記載がある。ある病院では、患者さんをバスで送迎している。高齢者が増加するし、上手くいけば駐車場の混雑も減ってくるのではないかと思うがいかがか。
- 経営管理課長：現在は、工事中のため午前中に福祉センターから病院への無料シャトルバスが出ている。本厚木駅から病院へのシャトルバスも

検討したが難しく、今のところはお要望にお応えすることは難しい。

委員： 会計待ちの時間が長いとの意見が多いが、新病院になって何か対策はあるのか。

次長： 待ち時間の対策は大変難しい。平成23年10月から電子カルテを導入した。紙カルテだと他科との共有に時間がかかったが、電子カルテによりかなりの会計時間の短縮を図ってきた。検査を行った場合や各科へ行った場合、一元的にすぐ会計を行うことが難しく、時間がかかってしまう。昨年度会計システムを見直しして、4分時間短縮したが、全体としては10分程度かかってしまう。努力はしているが、検査等が複雑になっているのですぐに会計処理できない。新しいシステムを導入する時にまた再検討したいと考えている。

委員： マイナンバー制度についてどのように考えているか聞かせてほしい。

次長： 国が主導で行っており、情報を集めている段階である。保険や請求の部分ではまだはっきり見えていない。私どもも制度についてはきちんと取り組んでいきたい。レセプトの請求など、動向をみながら取り組んでいきたい。

(5) 地域医療支援病院の委員会について

患者支援センター長： 資料に基づき説明。

委員： 委員会は本審議会そのものが行うのか、それとも別に行うのか。

患者支援センター担当係長： 本審議会をお願いし、承認の際に申請させていただきたい。

委員： 本運営審議会の開催回数は増えるのか。

患者支援センター担当係長： 申請の時期が確定していないが、仮に来年、申請するならば、今年度4回開催させていただく可能性はある。

局長： 現実的な話ができるようになってから、再度ご相談させていただきたい。

委員： いかがですか。

(全委員了承)

それでは、そのように進めてください。

(6) その他

特に意見なし。

4 閉会(副会長)

(病院事業管理者あいさつ)